



TECHNOLOGY WORLD

KATO

会社案内

「技術に豊かな心を」 これが私たちのコンセプトです

Technology Concept

建設機械は今や、そのイメージをドラスティックに革新しつつあります。都市型機械としての環境に溶け込むデザインが求められ、加えて低燃費・低騒音が高次元でクリアされ、さらにはオペレーターへのやさしい配慮=人間工学も徹底導入される……そんな時代のニーズに完璧に応えて最先端テクノロジーを駆使。メカトロニクスをはじめ、光ファイバー、新素材、コンピュータ……等々の導入で、高精度・高機能・高信頼性を誇るマシンを次から次へと開発しています。





茨城工場



群馬工場



茨城工場

トラッククレーンの生産では、業界でも初めてといわれるコンベアラインシステムを採用。全油圧式トラッククレーンおよびラフテレンクレーンの量産体制を敷き、生産能力は世界でも有数の規模を誇る。

所在地：茨城県猿島郡五霞町

敷地 (131,000m²)

主な製品：小型・中型・超大型油圧式トラッククレーン、ラフテレンクレーン、オールテレンクレーン

群馬工場

最新鋭設備と広大な敷地——きめ細かい管理と効率的な生産システムを採用。小型から大型までのバーチョベルやアースドリル、高速路面清掃車を一貫生産する建設機械の専門工場。

所在地：群馬県太田市

敷地 (215,000m²)

主な製品：小型・中型・大型の油圧式ショベル、アースドリル、高速路面清掃車



世界最大の建設機械展示会バウマ'98(ドイツ)



[海外営業体制]

「日本発、世界のスタンダードへ」これが当社の海外戦略コンセプトです。つまり、技術に国境はない……というワンワールド・マーケティング戦略をベースに、世界ブランドKATOへのステップアップを実践してきたのです。昭和30年代に始まった海外進出以来、納入実績は累計で数万台。今や世界120カ国以上にKATOブランドは浸透しています。

この海外ビジネスをクリエートしているのが、海外営業部。世界を股にかけて駆けめぐる。そんな形容がピタリとくる活躍ぶりで、ダイナミックな海外ビジネスを展開しています。

営業体制は世界5ブロック。各国の代理店を通じて商談を進めています。営業形態は直接貿易と間接貿易。前者は海外の代理店・顧客との直接商談、そして後者は商社の情報力に期待、共同商談という形態で展開しています。

[エピソード]

例えば、KATOの世界ブランドとしての浸透度を証明する、こんなエピソードがあります。何と旧ソ連では、「クレーン」と呼ぶかわりに「KATO」がクレーンの代名詞になっているのです。まさに「テクノロジーは世界の共通言語である」という当社の考え方を象徴するもの。もちろんこれからも、この考え方を貫く姿勢に変わりはありません。日本発、世界のスタンダードへ。KATOは海を越え、全世界の都市に浸透し、さらには地の果てにまでその名を刻んでいきます。

KATO

株式
会社 加藤製作所